

# 令和3年度宮城県立高等学校入学者選抜審議会

## 第1回専門委員会 記録

令和3年9月28日（火）14:00～16:00

県庁舎9階 第一会議室

### <審議会委員>

田端 健人 委員長, 河本 和文 委員, 清水 祐子 委員, 西條 和也 委員  
葛西 利樹 委員, 尾形 裕 委員, 高橋 賢 委員

(欠席: 浅野 直美 委員)

### <県教育委員会及び仙台市教育委員会>

遠藤 秀樹 高校教育課長  
春日川 孝 仙台市教育局学校教育部高校教育課長

事務局	(資料の確認) (公開の確認)
	(開会)
事務局	(委嘱状・辞令交付) (委員の紹介)
高校教育課長	(高校教育課長あいさつ)
事務局	(県教育庁関係出席者紹介)
事務局	(概要説明)
事務局	(委員長互選)
委員長	(委員長あいさつ)
事務局	(委員長 司会進行開始)
委員長	では、次第に従って、始めてまいりたい。 まず、事務局より全国募集に関する審議経過について報告をお願いします。
事務局	(事務局より説明)
委員長	以上、報告があった。報告について御質問、御意見があればお願いします。
尾形委員	3ページ2の(1)口、ハあたりについてだが、もし他の学校で、全国募集をやりたいと手を挙げた場合は、令和10年度以降になってしまうということで理解してよろしいか。
事務局	令和5年度入試からの実施については、その2校が、準備が整っているということで話が出ていた。それについても今後、この委員会で検討していただければと思うが、それ以降の話については、要望があった時に検討し、県教育委員会が決定していくという流れになると想定している。そのことも含めて、ご意見いただければと考えている。
委員長	他にいかがか。よろしいか。 では、審議に移る。審議の進め方については、「全国募集モデル校実施案について」の1から5までを順に進めていく。是非活発な議論を交わせればと思うので、様々な立場からの御意見を賜りたい。

	では、審議 1「全国モデル校実施案について」、その出願資格について、事務局からお願いします。
事務局	(事務局より説明)
委員長	では、「出願資格の原案」について御審議をお願いしたいと思う。「出願資格」について、この原案はいかがか。 清水委員お願いします。
清水委員	質問を少しさせていただく。 身元引受人が、該当する方がいない場合は学校に相談に願うというときに、どのような方を紹介していかれるのか。寮とかそういうところがあれば、その寮長になるのだろうが、下に書いてある順番、①に当たる方がいらっしゃれば問題はない。②下宿先や寮の責任者、そして③のような、首長になっていくのだろうが、この具体的に相談をいただいた時に、どういう形で紹介なさっていくのかを教えていただければと思う。
事務局	原案に示したのは、あくまでどの学校に対しても共通する部分ということで提示させていただいた。それぞれの市町村及び高等学校において、それぞれ事情が異なると思われるので、まずはその全体としての表現としては、「学校に御相談願う」とさせていただいた。その上で想定してるのは、先ほど身元引受人の例としてあった通り、下宿先や寮などの責任者であったり、他の都道府県をみると、首長が最終的には責任を持って務めたりするというケースが非常に多く見受けられる。 今回の志津川高校、それから中新田高校も、検討の段階ではあるが、首長が場合によっては務めるということも視野に入れながら、検討を進めているところである。相談を受けた際に、それぞれの事情に合わせて紹介できる身元引受人を提示していくという手順になろうかと思う。
清水委員	お聞きしたかったのは、やはり身元引受人がしっかりなさっていないと、生活の基盤というのは、安心・安全で、生活が成り立ち、特に食事、それから住まい、そのところが受験者にも、それから保護者の方にとって、とても大きいところだと思う。 今の御説明にあったように、それぞれの事情に応じて、対応して相談に乗っていくということであったので、安心した。 ただ、今まで4ページのところで書かれているように、「迅速に対応する」の「迅速」のところが、少し離れてしまったときには、時間的なことだけではないかもしれないけれども、そのような整合性もこれから具体的に考えていければと思う。以上である。
委員長	御意見に感謝する。 事務局への確認だが、この専門委員会で何回審議して、入学者選抜審議会へ答申という形となるのか。
事務局	スケジュールとしては、3ページの2(2)「モデル校実施のスケジュール」ということで、専門委員会が設置されて、この調査研究というところが、本日の1回目の専門委員会となるが、あと2回目の専門委員会を11月1日に実施し、概ねこの11月の2回目の専門委員会の方では、第2回入選審に提出する最終まとめの素案について、審議できればと思っていたので、この1回目の専門委員会の中で御意見をいただきながら、最終報告をまとめ上げていくと、そして2回目でそれを審議するという形を想定している。
委員長	了解した。 11月1日予定の2回目で報告の素案を出す。その素案に向けて、何を盛り込むべきかというようなところを御議論いただければと思う。

	<p>身元引受人に関しては、資料1の4ページにあるように、(1)のイの中に幾つも書き込みがある。この辺をどこまで盛り込むべきか。先ほどの御意見にもあったように、生徒の食事面をきちっとしていき、生活のリズムを整える役目を持っていると思う。それは健康面、それからメンタル面、或いは学習面において、身元引受人は大変重要な役割を果たすことになると思う。</p> <p>このあたりをどの程度まで書き込めばいいのかということも含めて、御意見をちょうだいしたい。いかがか。</p> <p>葛西委員願います。</p>
葛西委員	<p>書き込む原案として、今挙がっているイロハと※印のところは、この原案の通りでよろしいのではないかと思う。</p> <p>ただし、課題にある通り、身元引受人が役割を果たすことができる人物かどうかの確認については必要であり、課題でもある。これを学校がするのか、或いは引き受ける市町村がこの確認をできるのかどうか、また県教委の方であるのかなどの課題がある。この確認を、いつの時点で行うのかということもある。そのようなことに関して、現時点での考えを事務局の方にお尋ねしたい。</p>
事務局	<p>実はそのあたりの御意見が欲しいと考え、この課題のところに挙げさせていただいた。他の都道府県を見ると、その身元引受人のことについても、市町村が事前面接という話があったが、その役割も含めて確認をしている市町村もある。</p> <p>書類を提出していただいて、きちんとその受ける生徒の面倒を見るということ、誓約書のような形で出してもらおうといったことも想定している。</p> <p>しかし、どこがこの確認をするのかということについては、この場でぜひ御意見いただければと思っているので、よろしく願いたい。</p>
委員長	<p>今の点について、委員の皆様のお考えを伺いたいと思う。いかがか。</p> <p>西條委員願います。</p>
西條委員	<p>私もこの辺りが少し気になっていたところで、学校なのか、市町村なのか、県教委なのかというところで、身元引受人の事前面接なのだが、やはり算数・数学のように答えがはっきり分かる判断基準というのではないと思う。基本的には市町村が担当するのだろうとは思いますが、市町村ごとにこの差異が出ないような最終決定というところになると、やはり、県教委なのではないかと個人的には考えている。</p>
委員長	<p>御意見、感謝する。他いかがか。</p> <p>高橋委員願います。</p>
高橋委員	<p>今話があったように、市町村が中心になるということは私も同意見である。</p> <p>ただ、ここの段階でイメージが湧かないのが、想定している身元引受人の例の中で、親戚や寮というのはわかるのだが、3番目に挙げる首長が身元引受人になる場合はどのような手だてで、例えば他県で、どのような手だてで誰が直接担当するのかということが見えにくい。</p> <p>先ほどの話では市長が身元引受人になっているケースが多いという話もあったと思うが、実際に、例えば緊急なことが起こった場合に、果たして首長が身元引受人になった場合に、誰が対応するとか、緊急性があるかというところが、ちょっとイメージが湧かないので、その辺について、もしご存知であれば教えていただきたい。</p>
事務局	<p>他の都道府県の状況だが、首長が身元引受人を引き受けていると言っても、実際に首長が、何か問題が起きたときに対応していくのではなく、市町村の担当者が、何らかの形で設定されて、その担当者と学校との間でやりとりがなされていく。ただし、最終的にはきちんと首長が、その状況を把握していくことになっている。最終的な責任者として、首長が務めているわけだが、実際に動いていくのは、市町村の担当者で</p>

	<p>あるというのが他県の状況のようである。</p> <p>もし宮城県もそのようなケースで考えるのであれば、そうなるであろうというように捉えている。</p>
高橋委員	<p>基本的には身元引受人のところが一番高いハードルであると、私も感じており、その辺で市町村がしっかり判断できないといった場合の、県との繋がり、連携というのが非常に大切になると思っている。</p> <p>ただ、やはり緊急性のあるときに、その担当者が直接、その子の面倒を見られるのかということ、かなりあやしいところもあるのではないかと思う。例えば、そのようなことはないと思うけれども、実際に緊急事態等の時の対応の仕方については、考えていかなければならないと感じている。</p>
委員長	<p>御意見に感謝する。他にいかがか。</p> <p>尾形委員お願いする。</p>
尾形委員	<p>5ページに書いてある、身元引受人の例の①②③だが、やはり身元引受人と学校の繋がりというのはとても大事であり、地域とかよりは距離的に一番近いと思うので、①②については学校で確認をし、③については市町村で確認の方がいいのではないかと思う。</p>
委員長	<p>御意見に感謝する。他に御意見、御質問はあるか。</p> <p>河本委員お願いする。</p>
河本委員	<p>身元引受人の話だが、まず最初のその原案のイロハに、出願資格のような形で、「身元引受人を確保すること」という形になっているが、どういう形で外に出すかは分からないが、この「確保する」ことを志願者に委ねるような表現というのは、全国募集としてあまりそぐわないと思う。生徒を集めたいのであるから。</p> <p>特に親戚がいるという方は、非常にまれなケースだろうから、当然、事前にその身元引受人は、その学校或いは地域で、すでに準備されている状況でなければ、まず受け入れという形はできないと私は考える。</p> <p>どのような方を身元引受人にするのかというのは、やはり全国募集をする学校の目的がきちんと定まった形でなければ、定員確保だけのための全国募集であるならば、外からわざわざ受験しに来ることはないので、この学校がどういうことを目的とした全国募集なのか、それに見合う、それを理解していただいている身元引受人を、学校並びに地域の方で準備するというような体制が整っていなければ、なかなか実施にそぐわないのではないかと考えている。</p> <p>地域を理解して、地域の活性化とか、そういうような形で全国募集をするということであれば、当然地域のことをよく理解してる方、或いはよく知っている方のところに、身元引受人として、常にそばにいていただくということが必要になってくるであろうし、特別の学力とかいろいろなものを向上させるというようなことであれば、その状況で、生徒の普段の生活が順調にいくように、見守っていただけの方を身元引受人にするとか、それぞれの募集の目的によって、それにふさわしい身元引受人を事前に、何らかの形で準備しておくことが必要なのではないかと考える。</p>
委員長	<p>御意見に感謝する。</p> <p>(2) 原案のハの書き方にも関わってくるかと思うが、主語を誰にするかということであろう。「志願者が」或いは「保護者が」となっているが、「志願者が確保する」こととすると少しハードルが高くなるようなことになり、仮にそう書いたとしても、確保できない場合はどうなるかということになるというところが一つ。</p> <p>もう一つは学校の魅力化のデザインによって身元引受人が変わってくる。</p> <p>それから、今後モデル校2校以外のことも考えると、一定程度柔軟にして、首長、</p>

	<p>その地域，市町村が身元引受人になるケース或いは学校がなるケース，県教委が何か担うケース，或いは相互連携しながらのケースも含めて，どのような表現が適切か。</p> <p>①②の場合には，当然本人からの希望で，①ないしは②の下宿を選ぶというようなことになるだろうが，③の場合には，該当する人がいないケースになるか。</p> <p>他に御意見，御質問いかがか。</p> <p>では，今の意見もあわせて，さらに御検討願う。そして，今のことと連動して，（３）の市町村による出願前の事前面接に進みたいと思う。事務局願います。</p>
事務局	（事務局より説明）
委員長	出願前の市町村による事前面接について，御意見，御質問をお願いする。清水委員願います。
清水委員	<p>市町村が承認するというような書きぶりになっていると思うが，興味を持っている受験生，それから保護者の方が，地元の県から離れて，想像よりもよく，こういうところに興味があるから行かせたいと思っても，実際には市町村で選ばれればとか，審査を受けるとなるよりも，見方を変えて，当事者たちが「やっぱり合ってるから行ってみたい」という確認にもなるように，教育相談のような形で行うことがよいのではないか。</p> <p>例えば，事前に夏期休暇中に保護者と一緒に本人も行って見て，そこで心配になることをその市町村の方と面談というよりは，いろいろとやりとりをして，安心して行かせられそうだ，大丈夫そうだという，肌で感じるものもあると思うので，両方にとって良いような仕組みの表現にしていけば良いのではないかと思った。</p>
委員長	御意見に感謝する。他に御意見はあるか。尾形委員願います。
尾形委員	<p>案は，志願者及び保護者と事前面接という形であるが，岩手県の葛巻高校の例は，身元引受人についてもそこで審査するというようなので，岩手県のこの例はハードルが高いというか，そこまで見るようなのかというのが，少し印象があって，清水委員がおっしゃったように，４ページにあるように，まずミスマッチを防ぐことが大事なのではないかと考える。</p> <p>遠くて来れない場合はオンラインでということもできると思うので，そのミスマッチを防ぐための面接というよりは，もう少し面談というか，砕けた相談というか，そのような形は一度行った方がいいのではないかと思う。</p>
委員長	<p>私も，いわゆる山村留学的な高校を調べてみた。福島県の只見高等学校は，オープンキャンパスをかなり頻繁に開くとか，また，そこには寮があるのだが，寮の見学会や学校の見学会というのを頻繁に開いており，オンラインなのだけれども，オフィシャルな面接以外の場での，相互の交流があってオフィシャルな面接の方につなげている。</p> <p>オープンキャンパスとして周知することとか，そのようなことは書けないだろうけれども，そういうこまめなやりとりがミスマッチを防いでいくのではないかというように思われる。</p> <p>ただ，町で審査するとなると，町でも「こういう生徒さんに来られるとちょっと困る」という時に拒否するとすれば，受験資格がなくなるというような理解でよろしいか。</p> <p>この件についていかがか。葛西委員願います。</p>
葛西委員	町の方で責任を持って，学校の方でも受入れるわけなのだが，市町村の方でも，その生徒を受け入れて，本当に大丈夫かどうかといったところもあって，ミスマッチも防ぐということもあるのだろうけれども，この申込書類，葛巻の例では成績，特別活

	<p>動の記録，出欠等の記録，3年間頑張りたいことといった作文もあり，事前面接というような意味合いよりも，どちらかという选拔というような重みもあるといったところで，町がその生徒を受入れることが大丈夫かどうか，また，町としても財政的な面での支出も絡むので，それにふさわしい生徒かどうかといったことを事前に審査をして，1月までに承認する。その事前審査で通った受験生が2月に高校入試に出願して，高校入試を受けてもらうというような二段階の选拔といった形になってるわけだが，これは，受入れる町としても，ぜひ必要だというようなところがあるので，先ほどの話からも出ていた，まずミスマッチを防ぐという意味で，オープンキャンパス，そういったものを開いていただくことに加えて，この事前面接といったものは，町の方からも要望が出ているところだと思う。そのようなことから，これについては，ぜひ認めていただきたいと思います。</p> <p>その際，調査書等のことについても，少し難しい問題もあると思うのだが，市町村の方に事前に提出といったことも，これについてもいろいろ御意見が出る場所かと思が，ぜひ認めていただくような方向でお願いしたい。</p>
委員長	<p>御意見感謝する。</p> <p>事前面接には，選別的な色合いもあるということだと思う。それとどのような書類を提示するかは，求めるかは，市町村の方が判断するというようなことになるか。それぞれの学校の特色に合わせて，必要となってくる書類というものも変わってくると思う。</p> <p>他に，御意見，御質問いかがか。</p> <p>河本委員お願いします。</p>
河本委員	<p>私も，この葛巻町の例については，詳しく調べているわけではないが，市町村が事前面接を行うというケースというのは，おそらく，市町村が地域活性化のために何らかの企画を実施しており，それに参加するというようなことを条件としている場合については，その市町村の事前面接ということや，或いはオープンキャンパス的な説明など，事前の説明が必要であって，それを聞いてミスマッチをなくすということが必要かと思うが，実際に学校の方に，ある程度特色づくり等を，全国募集をして生徒の育成を任されている状態の時に，その市町村が，あえて事前面接を行うというようなことは，あまり想定されないのではないかと思います。</p> <p>あくまでその地域が，その高校で全国募集した生徒を，各市町村が実施する何らかの企画とか活性化の企画について参加を義務づけている場合のみ，このようなケースはあり得るのではないかと考えるので，何でもかんでも地域の事前面接が必要かというのは，ケースバイケースになろうかと考える。</p>
委員長	<p>御意見感謝する。一律に求めるものではないということである。他にいかがか。</p> <p>高橋委員お願いします。</p>
高橋委員	<p>今の話から市町村，やはり財政にというところが多分キーポイントになってくるのではないかと考えていた。</p> <p>全国募集に出願する子供，保護者に対して，何らかの援助・支援というものを，市町村で考えているとなると，そのために市町村の判断としては，必要な部分にはなってくると思うので，そのような条件付きというか，そういうところであれば，事前の面接というものがあっても良いのではないかと思います。</p>
委員長	<p>御意見に感謝する。西條委員お願いします。</p>
西條委員	<p>今，委員の先生方の話を聞き，初めは二段階の選別的な感じにイメージとして取っていたので，これはどうなのかと考えたが，市町村の求める人材というか，そういったところを事前に市町村が把握したいというような観点であれば，先ほどの通り一律</p>

	ではないにしても、まずその一つの判断でというところが、一番であろうかというように考えた。
委員長	御意見に感謝する。 では、事前面接についての審議はここまでとし、次の「2 募集定員・選抜について」に移る。事務局から願います。
事務局	(事務局より説明)
委員長	募集定員については、その全国募集枠をその上乗せするのかどうか、原案として上乗せをしないという方向で、原案が示されている。 選抜方法については、全国募集枠について特別な問題を用意し、日程を確保し、別にやるのか、それとも宮城県の入学者選抜に入れてやるのかというところが議論のポイントになろうかと思う。 或いは募集定員についても、どのようにするのがよいか、それぞれの都道府県で例がいろいろとあると思う。一定程度、上限を設けるのか、設けないのか。 いかがか。 葛西委員、この点について、志津川高校ではどのようにお考えか。
葛西委員	本校の場合は、求める生徒像といった、入試に必要な募集定員、それからどのような人材が必要かといったものを、もうすでに全国募集版も作成して、県教委の方に提出してあるが、本校の場合だと、全国募集枠については、現在のところ10%上限というような定員を設けている。 それについては、もちろん宮城県の公立高校の募集定員、本校の募集定員、現在情報ビジネス科40名、普通科80名であるが、その中に含めるという状況になる。 それを、全国募集枠の上限人数といったものについては、これは各校の事情、状況があるので、各校の状況に応じて、決めてよろしいかと思う。
委員長	御意見、御質問はあるか。 清水委員願います。
清水委員	中学校教員としては気になる場所である。 今の考え、上限10%について、他県と比較するものではないと思うので、県内の各高校で、吟味していただければと思う。 第一次募集の方で、この子供たちも県内の子供たちも受けていくということだが、県内の子供たちの定員を圧迫しない。ただ県外の子供たちの行く先、そちらの方も少し考慮したいというように教育の現場では考える。 例えば、様々な事前の教育相談というか、面談というか、何でもよいが、ぜひ行きたいなというような形で、審査の形もあったとして、それで第一次募集を受けに来て、他県と同じ入試の日程になった時に、もし駄目だった場合に、地元の県に戻って、二次募集する高校があるかどうかというか、そのようなところまで親としても考えてしまうというか、そのところはどのようにお考えか。
事務局	実はそのあたりのところを、もし駄目だったときにどうするのかということを考えてた時に、前もって推薦入試のようにやったらどうかという意見が、以前までに出てたところであった。 非常に悩ましい問題ではあるが、ただその一方で、事前にやることで、試験、また別な問題を作るのは難しいということもある。 その行き先の確保となると、他の都道府県の状況を見ると、二次募集にもう一度出願してもよいという形で明記している都道府県もあった。宮城県も同じような状況が想定されるのかなと思うものの、第一次募集で駄目だったときに、第二次募集の枠が残っているのかどうかというところで非常に悩ましい問題があり、そうすると実質的

	<p>には、他県の方に戻っていくことになるのか、正直結論が出ていない。</p> <p>非常に悩ましい問題だと思っており、その辺りも含めてぜひ御意見いただければと思う。</p>
委員長	<p>関連して、その関連というか、まさにどのような縛りを付けるかということで、本県に合格したら、元の高等学校の二次募集には、応募しないでくれというふうな縛りをつけるかどうか。両方合格して選んで、好きな方に行くようなことをされても困るわけでしょうし。</p> <p>それから、魅力化に伴って、県内の生徒もその高校を目指すようになれば、当然、募集の人数が上がってきて、県外の人落ちるとい、願わくはそのくらいの魅力が出てきても良いぐらいのところを目指すとするれば、落とせない設計にはできないと。当然だが選抜なので。その辺のところご意見いただければと思う。</p> <p>いかがか。河本委員お願いする。</p>
河本委員	<p>募集定員については、非常に悩ましいところであると感じている。</p> <p>まず通常の募集定員の中に含めるという形にした場合に、これは逆に言うと県内の高校生の入学者数を圧迫する形になっている。なので、本当に含めるという形でいいのか。</p> <p>特に過去5年の充足率を見て慎重に判断するとあるが、長年充足率が大分満たされていないというような学校においても、学校改編ということで、クラス数の減などが生じたときに、その空きの部分は縮まる。</p> <p>なので、これから各学校がどのように変わっていくかというところが非常に読みづらいところがあるので、特に他県で募集定員の何%というものを、数として最大数制限するためのものと見ているのかどうかというのは、この募集定員に含めるか含めないかということに大きく関わってくるかと思う。</p> <p>例えば募集定員の何%というのが10名だったときに、10名は絶対とるけども、その他については、募集定員がオーバーしたとしても県内の入学数を保証するというようにしたほうが良いケースもあるし、また、他県からもたくさんの何十人も全国募集に集まってきて、というような形になると、ある程度とる数も制限されるので、その時に圧迫されるというケースも出てくる。なので、募集定員に含める含めないというようなところから厳格化していくと、非常にそのケースバイケースによって、対応しきれなくなることが想定されるので、ここの部分はもう少し、その状況、その状況に合った状況がつかれるような表現で定員を定めていくのがよい。あくまで最大数は、募集定員の何%ということで、その生徒を取ったとしても、募集定員が上回るとか、減るといようなことも、想定の上では定めるという形にしていかないと、なかなか厳しいケースも出てくるのではないかと感じる。</p> <p>いずれにせよ最大数を決めるにしても、その募集定員に含めるか含めないかという判断は、その学校の状況がどのような状況になるか、一度決めてしまったら変えられないというような状況にすること自体がなかなか難しいというように思う。</p>
委員長	<p>御意見に感謝する。</p> <p>ちなみにこの募集定員というのは、どのくらい柔軟度があるのか。例えば、島根隠岐島前高校は、本当に廃校になろうとしていたところが、3年後ぐらいには、1学級さえ満たさなかったものが2学級に増加しているみたいなケースがあるわけだが、その辺の募集定員についてはどうか。</p>
事務局	<p>募集定員については、学校の統廃合等が大きく影響する部分がある。高校の魅力化構想であるとか、県全体の生徒数、中学校3年生の卒業生数等々と協議的に見て、どの時期に、どの地域の学校のクラスを何クラス減らすかという計画がもうあり、それ</p>



	<p>に基づいて、高校の方の募集定員の方も決めているところである。</p> <p>今の話にあるような、この全国募集で突発的に1クラス分増ということは、こちらが想定はしてない状況である。今後、そのようなことが想定される場合については、また新たに検討していく必要も出てくるかと思う。現時点においては、長期的な計画に基づいて、募集定員を決めさせていただくような形になろうかと思う。現状では、全国募集枠として別にとるというところまでは、検討は進めていないというのが、実際のところである。</p>
委員長	<p>全国から1クラス分ぐらい集まるみたいなことは、ちょっと想定しづらいが、10人とか、20人とか集まるという状況、そのぐらいの魅力を高校が出し始めると、その地元の子供が、他の地域の高校に行っていた子供たちが来るようになると、結構な数になってくると思う。むしろそうやって欲しいと思っている。</p> <p>他いかがか。高橋委員お願いします。</p>
高橋委員	<p>今の話で、募集定員は非常に難しい問題であると思っているが、広い目を見たときに、例えば、他の全国募集、特に宮城県の中学生在が行っているケースというの、多分何件かはあるのかも知れないので、例えば日本全国と考えた時に、この全国募集の目的というのは、やはりやる気のある、そういう人たちが集まってくるということで、県内の生徒にもいい影響を与えるように、全国募集をするというような観点からすると、今ある定員もなかなか動かせるものではないという現状があるので、その中には入れなければならないのではないかと。</p> <p>ただ、その中で、その効果が宮城県の生徒たちにもいい影響があるのだということを見ると、広い目で見て、全国募集の目的からすると、その中で、宮城県の子供たちは全国から集まってきたら、宮城県のこれからの子供たちだというような考え方に則っていくべきところなのかなというように、私は考える。</p>
委員長	<p>御意見感謝する。他いかがか。</p> <p>西條委員、お願いします。</p>
西條委員	<p>今の話の根本的なところからちょっとわからないので聞きたいのだが、この募集定員なのだが、モデル校としては5年間検証するという中で、ここでこの後定まるであろう募集定員というのは、その5年間はまず変わらずに検証していくというのか、或いはその年度ごとに検証しながら、流動的にしていくのか。わからなかったので、お聞きしたいと思う。</p>
事務局	<p>そのあたりは、1年ごとに効果検証をしていくということになっているので、一度決めたらそのまま行くのではなく、受入体制なども当然、たくさん1年目に人が来れば、2年目は受入体制に限度があったりということも想定されるので、毎年検討して決定していくということを想定している。</p>
委員長	<p>尾形委員いかがか。</p>
尾形委員	<p>二つ意見と一つ質問がある。</p> <p>最初の方に話されていた行き先の保証ということでの試験の時期についてだが、それについては行き先の保証というのは、県内の中学生も同じだと思う。したがって時期については同じでいいと私は思う。それから定員についても、難しい問題もあるが、県内の生徒の定員を完全に圧迫しないようにするためには、枠は別だと思う。全国募集に関する資料集の30ページ、31ページに資料がある充足率、私は別枠の方が良いと思っているので、例えば、志津川高校だと、地区で見ても、別枠で設定しても多分大丈夫なのではないかと思う。</p> <p>それから、その20人とか何人とかということも出ているが、地域で受け入れる最大数というものもあると思う。その辺が見えていない状況なので、1クラス増やすとか</p>

	<p>何とかという話は置いておいて、その地区の充足率を見たところで、私は別枠でもいいのかなと思う。</p> <p>中新田高校にしても、ここの大崎地区は、古川黎明高校、古川高校、古川工業高校が、ここに載っていないということは、おそらく100%超えてるということだと思うが、地区的にはこちらの方も学校、少ないところもあるが、地区的に見てもこちらの方は超える可能性はなくもないけれども、県内の中学生の定員を圧迫しないということを考えれば、別枠の方がいいと思う。</p> <p>あと最後、一つ質問なのだが、その選抜方法について、もし募集定員に全国募集枠を含める場合は、県内の中学生と同じように選抜するのか、それとも定員の中での全国枠というのを、別に設定するのか、その辺はどのようにお考えなのか、お聞かせ願えればと思う。</p>
事務局	<p>そこまで細かなところまでは、検討はしていなかった。</p> <p>ただ、学校の入学者選抜の場面を想定した時には、やはり同じ土俵で考えていかないと、募集定員以内というのはできないというようには考えていた。</p>
委員長	<p>他に御意見いかがか。</p> <p>別枠という可能性ということも、一つの意見として出てきたので、この辺もまた検討願う。</p> <p>引き続き、次の審議に移りたい。全国募集モデル校実施案について「3 モデル校について」事務局から願います。</p>
事務局	(事務局より説明)
委員長	<p>モデル校について、いかがか。モデル校については、概ねよろしいか。</p> <p>もし実施して、令和6年というところで、モデル校を希望するという学校が増えるかもしれないが、それはその時にまた柔軟に対応するという理解でよろしいか。</p> <p>御意見、御質問あるか。</p> <p>では、モデル校については、原案の通りとさせていただきます。</p> <p>続いて、効果検証について、事務局願います。</p>
事務局	(事務局より説明)
委員長	<p>効果検証について、いかがか。検証が始まるのが令和6年ということで、まだ先にはなるが、事前にいろいろとご意見があった方が、その時に対応が充実するかと思う。</p> <p>いかがか。河本委員願います。</p>
河本委員	<p>想定される効果検証として、ここに挙げられているイロハニホの5点があるが、どちらかという教育的な効果があったかどうか、或いは地域の影響等を主体として考えている。</p> <p>ただ、この制度が適切であったかというようなところの検証が、この全国募集を全県展開にするのかどうかというようなところの判断にもなってくるので、実際受験を考えた生徒がやっぱり受験を諦めたとか、或いは、こういうような時期でこういうような制度であると、なかなか受験する気持ちが出なかったとか、そのような制度について、正しい時期、適切な試験であったかというようなところも検証していかないと、この全国募集の制度が制度化されることは難しいのではないかと。</p> <p>先ほどの話にも通じるが、例えば第一次募集で実施するというようなことが果たしている時期であったのか。というのは、この時期というのはかなり影響すると思う。</p> <p>わざわざ遠く宮城まで来て、そして学校生活を送るという決断をするのが、ぎりぎり3月の、他の自分がある県の公立高校とか、私立高校が実際の試験の時期と同じだというようなところは、かなり受験生の進学意思決定させることを惑わす状況なのではないか。前の推薦入試のように、早い時期に決まっていて、いきましようというよ</p>

	<p>うな形で決定していれば、割と受験しやすいというところも出てくると思う。</p> <p>生徒が集まらなければ、この制度は話にならないので、やはりその制度の時期や実施が本当に適切なのかというところを、実際受験されなかった人たちにもアンケート調査等様々なことができるかと思うので、そういう部分も検証に含めていかなければいけないというように考えている。</p>
委員長	<p>御意見感謝する。他にいかがか。</p> <p>葛西委員お願いします。</p>
葛西委員	<p>全国募集は、市町村からの強い要望という側面があって、それは地方創生の考えであったりといったところもあり、教育委員会というよりは、町などの地方創生を担っている担当課が旗振り役をして、全国募集を要望しているといったケースが、全国的に見られるので、そういった学校の活性化といったこともあり、しかもその地域が、本当に活性化してるかどうかといったところも、非常に重要な検証のポイントとなってくるので、地域の活気というようなものがあるけれども、これについては市町村の方からも、調査といったものが必要になってくるかと思うので、ぜひ、そういった視点からも検証を深めていただければと思う。</p>
委員長	<p>御意見感謝する。</p> <p>検証と連動して、先ほどの河本委員の制度の適切さとリンクするが、やはり試験実施の時期が、県立高校の入試の時期となっていると、確かに二の足を踏むということもなくはない。そうすると、別のもう少し前倒しの日程でやるという、特別に試験をする、推薦入試の試験なのか、学力面のテストも含んだものなのか。高校なり、市町村なりが独自にそのテストを作るという可能性も、完全に否定しなくてもその道が残っていてもいいのかもしれない。</p> <p>できるというような形での実施というところもご検討いただければと思う。</p> <p>他にあるか。よろしいか。</p> <p>更に続けたいと思う。「その他」について事務局お願いします。</p>
事務局	<p>いろいろ御審議に感謝する。</p> <p>これまで御意見をいただき、まだまだ検討の余地があると感じているところである。選抜方法のところも、先ほど一般入試の制度と、それから全国募集の制度で一緒にするのであれば、同じ土俵でと話をしたところであるが、その一方で、例えば共通選抜と特色選抜という二通りの方向で選抜している中で、全国募集の生徒を共通選抜で選抜するののかというようになった時に、そぐわないのではということもあり、どちらかという、特色選抜の色合いが濃いのではないかとか、そうすると別枠で選抜すべきのかなど、まだまだ詰めていかなければいけないところを実感したところである。本日いただいた意見をもとに、これからまた詰めていきたいと思う。</p> <p>また、その他の意見ということで、次の11月1日の第2回専門委員会までに、調査研究を進めて欲しい事柄等あれば、ぜひこの場で頂戴しながら、次回までの宿題とさせていただきますと思うので、何かあればお願いしたい。</p>
委員長	<p>委員の皆様からいかがか。全国募集について、今回議論したかった点も含めて、次の11月までに、追加で調査、研究いただきたいことはあるか。</p> <p>西條委員お願いします。</p>
西條委員	<p>追加で調査をお願いするというよりは、昨年度も随分議論されている広報の関係で、中学校の教員の立場で話をすると、来年度卒業生の進路の面談はもう夏休み前にはスタートするというので、この全国募集のことも、モデル校での学校の特色も、そういったところの広報を始めるのであれば、時期的に早くしないとなかなか周知できないのではないかと感じている。</p>

委員長	<p>御意見感謝する。</p> <p>周知というところも含めてだが、もし市町村の面談をやるとすると令和4年、来年の10月ぐらいにはもう面談していないといけない流れになるので、令和5年と言っても、目前のようなタイムスケジュールかと思う。</p> <p>他にいかがか。清水委員お願いする。</p>
清水委員	<p>財政が絡んでくるので、ここで何かはっきりと、というわけではないのだが、経済的な支援ですとか、何かそういったものについて、2つの学校で、今何か話が出てるのかどうか、そういう情報がなにかあれば、教えていただきたい。</p>
委員長	<p>できればではあるが、かなり大事なことで、福島県の只見高校も寮があり、その寮費がほとんど食費ぐらいで済んでいるし、それから全国模試を受けるのも、格安で受けることができ、市町村の方がかなり支援している実態があって、どこからそのようなお金が出てきてるのだろうということも、できればどこかのグッドプラクティスを調べていただければと思う。</p> <p>それから今日の議論を受けてだが、事件・事故のようなものが起きて、保証人の責任みたいなものがあったケースについてはどうか、調べがついていたりするか。</p>
事務局	<p>今のところ、事件・事故といった話は、分かっていない。なかなか表にも出づらいことなのかも知れないと思っている。</p> <p>また、支援という面では、加美町の方は寮を考えてはいるようだが、現時点で明確にこういう支援をするというのを把握してるわけではない。南三陸の方は葛西委員の方が詳しいかと思う。</p>
委員長	<p>では、葛西委員いかがか。</p>
葛西委員	<p>南三陸町の方は、平成29年の6月から公営塾を町の財政でもって、学校の敷地の中に設けている。この公営塾も一つの特色であり、PR材料である。</p> <p>今後町としても、非常に苦しい中ではあるが、町の予算でもって、公営塾を運営していくといったところ、またPR、広報活動といったところでは、来年度、平成4年度から地域プラットフォーム、この全国募集をPRする全国の高校が集まって、東京、愛知、大阪でもって一堂に会してPR活動を行うといった地域プラットフォームの方に、年間80万の予算がかかるが、それについても今のところ町から出していただくという話になっている。</p> <p>前回、県では一切出せないというような、そういう厳しいお言葉があり、町が頑張っているから、何とか県の方としても何とか、少しぐらい出して欲しいとお願いしてる。生徒指導上の問題とか、そういうところでどうしても保護者がいるところに出かけなければならないという事案が発生したときの出張旅費は、出していただきたいと思っている。</p>
委員長	<p>御意見、感謝する。県にも御努力を賜りたいということである。</p> <p>他に御意見、御質問いかがか。よろしいか。</p> <p>長丁場になったが、様々な意見に感謝する。</p> <p>では、続いて「審議（2）現在の入試制度に係る実施状況の検証について」事務局からお願いする。</p>
事務局	<p>（事務局より説明）</p>
委員長	<p>まず、アンケート調査を中心とした検証ということになっているが、アンケート以外での調査について、何か御提案はあるか。もしあれば、それも含めての御提案、御意見も承りたい。</p> <p>また、アンケートは質問項目の設定の仕方や何件法で聞くのかということによって、</p>

	<p>大分結果が違ってくる。いわゆる一本化をした効果、或いはデメリットというものができるだけ明確に数値に表れるような項目の設定をしたいと思っている。</p> <p>どのような項目を追加するのがよいか。或いは、現場で変化を体験しておられる先生方の変化の実感の部分、こういうところがとてもよかったとか、課題であるという御意見も大変参考になると思う。どのような視点からでも結構なので、ぜひご意見を頂戴したい。いかがか。</p> <p>河本委員お願いする。</p>
河本委員	<p>アンケートを取る場合に、前回までの入試制度との比較というような形で、おそらく回答されるかと思うが、平成に入ってから宮城県の公立高校の入試は、大きくいろいろ変わってきている。推薦入試がなくなったりとか、そして前後期とか、そのような形で実施しているので、その変化の流れがわからないと、おそらくアンケートをとると、その他のところや色々な自由記述のところを作ったりすれば、「ぜひとも推薦入試をやって欲しい」など、そういうような旧制度に戻るような意見が必ず出てくる。なので、制度自体がよくわかってないのに、「こんなアンケート取られても答えようがない」といったこともでてくる。</p> <p>こちらは頭の中にあるので、すぐこのアンケートに対してはいろいろ回答ができるという設定したことが、対象にもよるけれども、答える方にとっては、全く意味不明な質問になっていたりすることも多々あるので、こういう質問調査をするときには、ある程度、今までの入試の変化の概略とかが資料にあって、それをもとに判断されてはどうですかというような形がよろしいのかなと思うので、質問項目でなく、アンケートを取る前の事前の資料というものを、何かしら分かりやすく出された方がよろしいのではないかと感じる。</p>
委員長	<p>御意見感謝する。</p> <p>調査対象は、全公立中学校、高等学校と理解してよろしいか。</p>
事務局	<p>そのとおりであるが、前は私立や宮教大附属中学校も対象としていた。</p>
委員長	<p>回答されるのは、実質的には教頭先生という理解でよろしいか。</p>
事務局	<p>あくまでも前回のことであるけれども、アンケートを実施したときには学校としての回答ということを求めたので、必ず校長先生の名前で出すという形になっていた。ただ、実際誰が回答者かというのはわからないことではあるが、中学校によっては実務の担当の方が回答された気配が見られたりとか、教頭先生が回答されたような気配が見られたりという、回答の中身を見るとそのような感じではあった。</p> <p>具体的にこちらから必ず教頭先生が回答するように指示を出してたわけではないので、今回も学校として回答を出していただければよいというような、今のところの考えである。</p>
委員長	<p>今の河本委員の御意見からすると、入試の変遷、制度の変遷もある程度理解している立場で書いていただきたいというようなことであろうか。</p> <p>他いかがか。高橋委員お願いする。</p>
高橋委員	<p>前回とはまた違った状況の中での調査になるというように思う。実際今回の入試改革の中で、いわゆる求める生徒像を意識した話がかかなり出てきたと思うのだけれども、やはり学校だけでわかるのかというところが大きいかなと思っていた。</p> <p>学校自体で生徒を見ながら、そういうのに変化があったと変容があったというように見るのか、或いは生徒自身が、自分が選択するときには高校は選択しやすくなったとか、わかるようになったとかという生徒や保護者の意見があることが、大きいのではないかと思ったので、実際に学校にとってみでの制度改革だけではなくて、実際に受けた現在高校1年生2年生の子供たちや親がどう思ったかというのも、一つ観点なの</p>

	かなという気はしていた。
委員長	御意見に感謝する。 生徒・保護者の声も欲しいところである。悉皆でなくとも抽出で、うまい具合にサンプルをバイアスのないような形で、1, 000でも、或いは500でもあれば、データ、統計としてはかなり信頼性のあるものができると思うので、地域をいくつか分散しながら、生徒・保護者、ちょうど変化の時期にあった生徒・保護者の感想とか、できればあるとうれしい。他いかがか。葛西委員お願いします。
葛西委員	新入試になって、先ほども話に出ていた共通選抜と特色選抜、それが各校によって求める生徒像に従ってということなので、それが各校によって違い、それから、また各教科、科目の配点についても、各校また結構違っているといったところがあり、非常に中学校側の説明も大変苦労されているのではないかというのを、我々高校が中学校側に説明するのも非常にわかりやすく、本当に説明がきちんとできているかどうかといったところも不安を抱えながら説明をしているところで、果たしてそれが本当に理解していただいているか、またかなり中学校の現場では苦労されているのではないかが推察される。 アンケートを取る場合は、前回と違って、かなり質問項目をわかりやすく吟味した形でならべるとということも必要になってくるかと思われるので、その辺を一つ配慮した形でもってアンケートを作っただければと思う。
委員長	御意見に感謝する。 他に、いわゆる一本化になってこういう点がかかなり変わったという、御指摘でも結構である。いかがか。 清水委員、お願いします。
清水委員	実は、この新入試制度導入の時に現場にいなかったもので、今年度、実感を持って体験できていると思っている。 私はこの導入していただいて本当によかったと、望んでいたことであるというふうに思った。1ページに書いてあるように、学校現場で本当にこのような課題に頭を悩ませていたので、非常にすっきり整理をしていただいて、良い制度であると思っていた。 今の説明についてもだが、私もまた現場に戻って、1字1句こう読んでいるところを、どういうふうに保護者にわかりやすく伝えていこうかというところを、説明会をよく聞きながら、わかりやすい説明に努めたいと思う。 この新入試については、導入成功であると思っている。
委員長	他にいかがか。 尾形委員お願いします。
尾形委員	私も2年間ほど高校にいなかったもので、この入試制度では、この春の入試が初めてだったが、前の制度の時はやはり年明け1月から、1, 2, 3月と入試関係で、担当の先生は忙しいという感じであったので、そこについては、とても良くなったと思う一方で試験監督を確保するのがとても大変で、本校ではないが仙台のある学校では、5教科のうち4教科で監督をしなければ回らないような状況になっている。その辺の課題がしっかりあぶり出されるようなアンケートになれば良いと思う。
委員長	御意見感謝する。 西條委員いかがか。
西條委員	私もこの4月から学校現場ということで、この入試制度が初めてということで、なかなか難しかったのだが、やはり今話し合った通りで、教員側と受ける生徒・保護者の考え方というのはかなり違うのではないかと思う。

	<p>今、聞いていたところ、やはり高校と中学校でも、それが違うのかなというところで、そういったところのアンケート対象が、あればいいのではないかというように感じている。</p>
委員長	<p>御意見感謝する。</p> <p>もし可能でしたら、2回の新入試を体験した現場の先生方の声を、ぜひ集めていただいて、また次のこの専門委員会の場で、その声を反映いただければ、精度の高い質問紙調査になろうかと思う。宿題を出すわけではないが、もしできれば、そういう点についても現場の先生方と、意見交換していただければと思う。</p> <p>あとは、生徒がこれまで前期後期だと、前期で落ちたそのショックを学校でフォローしていくという大変さが、今回大分減ったのではないかと思う。そういう点からの質問項目も必要かと考える。</p> <p>それからあとは、入試の長期化が少し短期になることで、学習の保障の面、授業時数が伸びたその効果の手応えみたいなもの。或いはこれまで前期で合格した、受験生が、風紀を乱すとは言わないが、やや緊張感をシェアしない状況、この辺も変わってきたのではないかというように思う。</p> <p>また、説明の問題でいくと、説明される側の意見は欲しいというような気もする。いろいろと大事な問題なので少し時間をかけながら、質問項目を練って、入試のあり方を変えることで、良くなった点とそして課題の面、両方がしっかり出てくるアンケートを実施したい。</p> <p>引き続きご協力のほどよろしくお願ひしたい。</p> <p>では、以上をもって審議を終了してよろしいか。</p> <p>以上をもって、この新入試制度の検証についての審議を終了する。</p>
委員長	<p>では次回以降の予定について確認する。</p> <p>まず、本日の会議は公開で進めているが、次回の公開非公開の取り扱いについては確認しておきたいと思う。事務局としてどう考えているか説明願う。</p>
事務局	(次回の専門委員会の審議について公開・非公開の確認)
委員	(公開で異議無し)
委員長	それでは、次回の予定について事務局お願いする。
事務局	(次回の予定について事務局から説明)
委員長	本日の審議はこれまでとし、進行を事務局にお返しする。 (専門委員会終了)